

**岡山県感染症週報**

2011 年 第 28 週（7 月 11 日～ 7 月 17 日）

**岡山県では『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。**

## ◆2011 年 第 28 週（7/11～7/17）の感染症発生動向（届出数）

## ■全数把握感染症の発生状況

- 第 26 週 2 類感染症 結核 1 名（60 代 女）  
 4 類感染症 A 型肝炎 2 名（60 代 男 2 名）  
 5 類感染症 麻疹 1 名（幼児 男）
- 第 27 週 2 類感染症 結核 4 名（70 代 男 1 名・女 2 名、80 代 女 1 名）  
 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 名  
 （O157 70 代 男 1 名、O103 10 代 男 1 名）  
 4 類感染症 レジオネラ症 1 名（60 代 男）  
 5 類感染症 アメーバ赤痢 1 名（40 代 男）の報告がありました。

## ■定点把握感染症の発生状況

- 手足口病は全県で 2 週つづけて減少しましたが、依然として県内全域で感染症発生レベル 3 が継続しています。岡山県は注意喚起を行い、感染予防と早めの受診を呼びかけています。
- ヘルパンギーナは今週も増加し、特に岡山市では発生の多い状態がつづいています。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、今年は 7 月 22 日までで 29 名と発生は少ないものの、6 月から増加しています。例年 8 月は 1 年で最も発生が多いので、これからの時期は特に感染予防に努めて下さい。岡山県では**腸管出血性大腸菌感染症注意報を発令**し、感染予防を呼びかけています。なお、これまでのところ県内では溶血性尿毒症症候群（HUS）など、重症例や死亡例の報告はありません。県内の発生状況・症状・感染予防などについては感染症情報センターホームページ [『腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中！』](#) をご覧下さい。
2. **手足口病**の定点あたり患者報告数は、2 週つづけて減少しました（10.04 → 8.26 人）。しかし、依然として発生は多く、県内全域で大きな流行が発生または継続しつつあると考えられる感染症発生レベル 3 がつづいています。詳しい症状、予防法については、感染症情報センターホームページ [『【注意！】手足口病が流行しています！』](#) をご覧ください。
3. **ヘルパンギーナ**の定点あたり患者報告数は、今週も増加しました（4.00 → 4.26 人）。岡山市では感染症発生レベル 3 が継続しており（9.07 → 9.07 人）、倉敷市（3.64 → 5.64 人）や備中地域（1.14 → 2.57 人）で発生が増えました。  
**手足口病、ヘルパンギーナの今週の動向については、『今週の注目感染症』** をご覧下さい。

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ			RSウイルス感染症		
咽頭結膜熱		★	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★	水痘		★
手足口病		★★★★★	伝染性紅斑		★★
突発性発疹		★★★	百日咳		★
ヘルパンギーナ		★★★	流行性耳下腺炎		★★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★★
細菌性髄膜炎		★	無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】

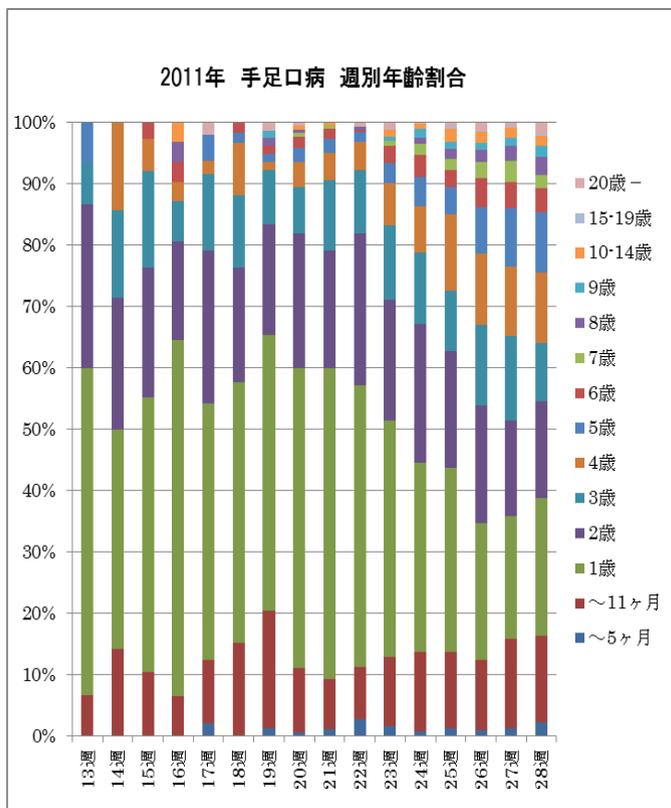
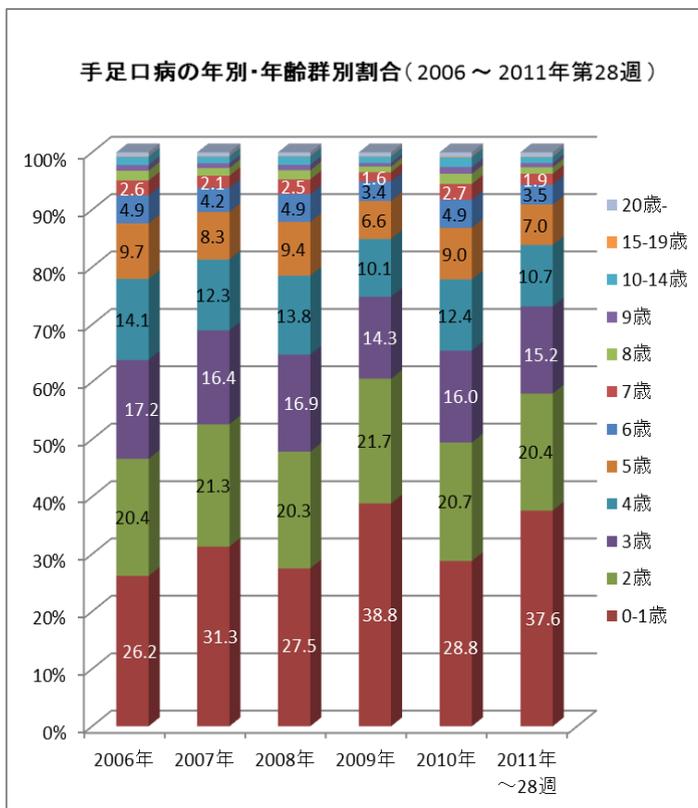
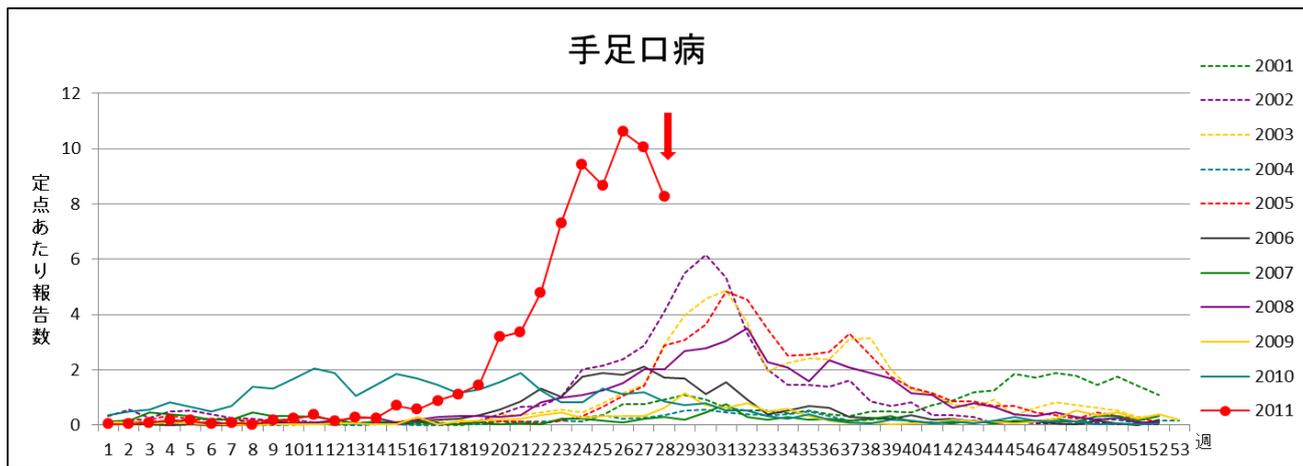
前週からの推移： ↓ 2倍以上の減少    ↘ 1.1～2倍未満の減少    → 1.1未満の増減  
 ↗ 1.1～2倍未満の増加    ↑ 2倍以上の増加

流行状況： 空白 発生なし    ★僅か    ★★少し    ★★★やや多い    ★★★★多い    ★★★★★非常に多い  
 ※定点当たり患者数について、過去5年間の標準偏差値に感染症の種類毎に係数を乗じた値を5等分し、流行状況の目安として5段階で表示しています。

今週の注目感染症

1. 手足口病

手足口病の定点あたり患者数は、2週つづけて減少しました（542 → 446人 定点あたり 10.04 → 8.26人）。県内全域で発生は減少したものの、岡山市（15.36人）・倉敷市（8.55人）・備前地域（5.80人）・備中地域（6.57人）では依然として発生の多い状態がつづいており、感染症発生レベル3が継続しています。



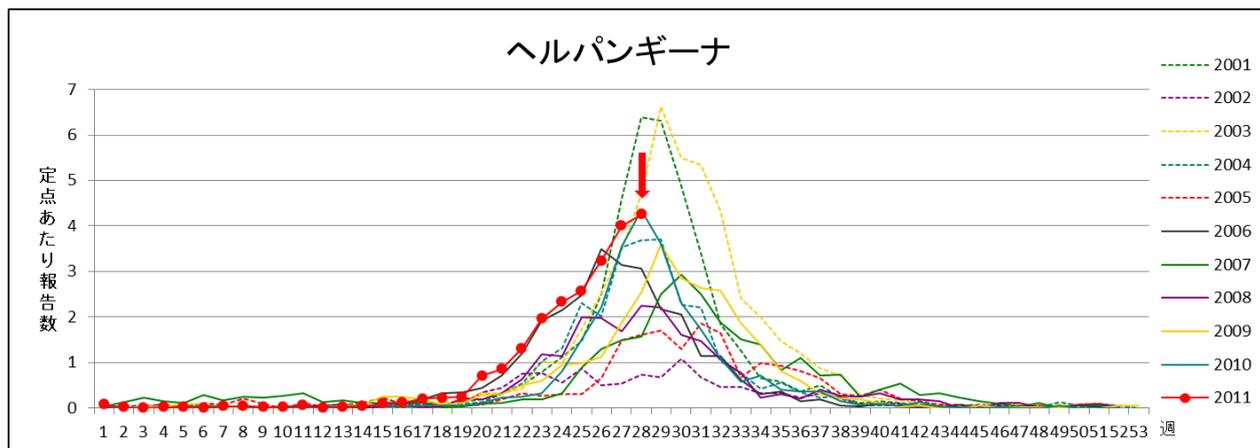
患者の年齢は3歳以下がほとんどですが、2011年第28週までの年齢群別割合を過去5年と比較すると、0～1歳の乳幼児の割合が例年より高くなっており、全国でも同様の傾向が見られます。また流行が拡大するにつれ、4～6歳の患者割合が増加しています。

手足口病は、まれに髄膜炎や脳炎を合併することがありますが、岡山県ではこれまでのところ無菌性髄膜炎・脳炎いずれの報告もありません。



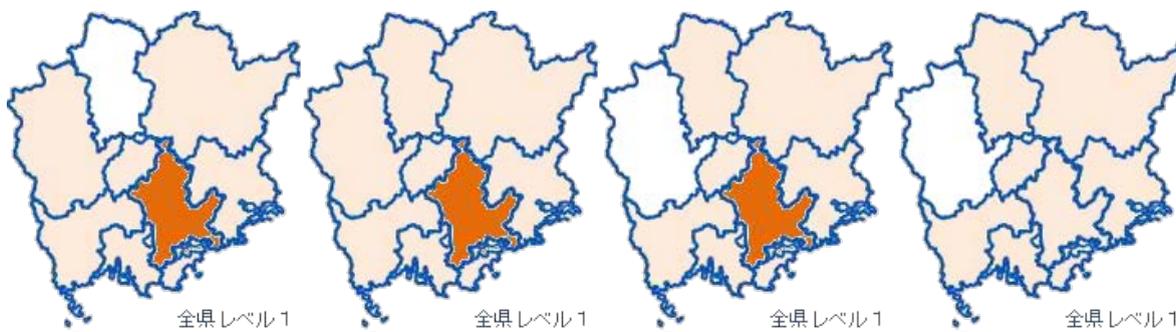
が必要です。

岡山県ではヘルパンギーナ患者 1 名の咽頭拭い液から、**コクサッキーウイルス A6 型**が検出されました。



**感染症マップ ヘルパンギーナ 2011年 28週**

28週 7/11～      27週 7/4～      26週 6/27～      25週 6/20～



レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
6	2		0 < 6未満	0

**コクサッキーウイルス A6 型**は、全国的には、これまでヘルパンギーナ患者から検出される例が多く報告されてきましたが、最近では、手足口病患者からの検出報告が増加しています。今年も、これまでのところ、手足口病患者からの検出報告が大部分を占めています。詳しくは、**国立感染症研究所 感染症情報センター 病原微生物検出情報** をご覧ください。

**【国立感染症研究所 感染症情報センター 病原微生物検出情報】**

今年のコクサッキーウイルスA6型検出状況 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-tj.html>  
 2007-2011 の手足口病からの検出ウイルス <https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data37j.pdf>  
 2007-2011 のヘルパンギーナからの検出ウイルス <https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data38j.pdf>

- 夏に流行する手足口病・ヘルパンギーナはひきつづき流行し、例年より患者数が多い状態が続いています。
- 保育園、幼稚園などでは集団発生する可能性もあります。症状が治っても、便の中には2～4週間ウイルスが排泄されることがあります。うがい・手洗いを励行し、おむつや便の取り扱いに注意して、感染予防と拡大防止に努めましょう。
- 体調を崩しやすい時期ですので、お子さんの体調の変化に注意して早めに医療機関を受診しましょう。

保健所別報告患者数 において **数字** は感染症マップにおいて レベル3  
**数字** は感染症マップにおいて レベル2 を示しています

保健所別報告患者数 2011年 28週 (2011/07/11～2011/07/17)

2011年7月20日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	22	0.41	10	0.71	3	0.27	-	-	1	0.14	-	-	-	-	8	1.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	9	0.64	14	1.27	1	0.10	6	0.86	1	0.25	-	-	4	0.67
感染性胃腸炎	217	4.02	50	3.57	47	4.27	63	6.30	9	1.29	21	5.25	9	4.50	18	3.00
水痘	29	0.54	9	0.64	12	1.09	3	0.30	2	0.29	1	0.25	-	-	2	0.33
手足口病	446	8.26	215	15.36	94	8.55	58	5.80	46	6.57	10	2.50	4	2.00	19	3.17
伝染性紅斑	17	0.31	8	0.57	1	0.09	2	0.20	-	-	1	0.25	-	-	5	0.83
突発性発疹	36	0.67	19	1.36	6	0.55	4	0.40	1	0.14	-	-	-	-	6	1.00
百日咳	2	0.04	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	230	4.26	127	9.07	62	5.64	15	1.50	18	2.57	2	0.50	-	-	6	1.00
流行性耳下腺炎	88	1.63	14	1.00	45	4.09	11	1.10	14	2.00	1	0.25	-	-	3	0.50
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	11	0.92	3	0.60	4	1.00	2	2.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	0.60	1	1.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2011年 28週 (2011/07/11～2011/07/17)

2011年7月20日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	22	0.41	10	0.71	3	0.27	-	-	1	0.14	-	-	-	-	8	1.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	9	0.64	14	1.27	1	0.10	6	0.86	1	0.25	-	-	4	0.67
感染性胃腸炎	217	4.02	50	3.57	47	4.27	63	6.30	9	1.29	21	5.25	9	4.50	18	3.00
水痘	29	0.54	9	0.64	12	1.09	3	0.30	2	0.29	1	0.25	-	-	2	0.33
手足口病	446	<b>8.26</b>	215	<b>15.36</b>	94	<b>8.55</b>	58	<b>5.80</b>	46	<b>6.57</b>	10	<b>2.50</b>	4	<b>2.00</b>	19	<b>3.17</b>
伝染性紅斑	17	0.31	8	0.57	1	0.09	2	0.20	-	-	1	0.25	-	-	5	0.83
百日咳	2	0.04	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	230	4.26	127	<b>9.07</b>	62	5.64	15	1.50	18	2.57	2	0.50	-	-	6	1.00
流行性耳下腺炎	88	1.63	14	1.00	45	<b>4.09</b>	11	1.10	14	2.00	1	0.25	-	-	3	0.50
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	11	0.92	3	0.60	4	1.00	2	2.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2011年 第28週 2011/07/11~2011/07/17 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	22	-	-	5	5	3	2	3	1	1	1	-	-	-	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	-	1	1	3	3	3	5	4	2	7	1	2	-	3
感染性胃腸炎	217	3	19	26	25	18	25	16	17	9	12	3	18	4	22
水痘	29	-	-	6	4	7	6	3	1	1	1	-	-	-	-
手足口病	446	10	63	100	70	43	51	44	17	10	13	8	7	2	8
伝染性紅斑	17	-	-	-	1	4	4	3	2	1	1	1	-	-	-
突発性発疹	36	2	18	15	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	230	4	25	70	36	26	22	19	11	4	6	2	5	-	-
流行性耳下腺炎	88	-	1	5	4	10	15	11	17	8	4	2	7	3	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	11	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4	1	2	1	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

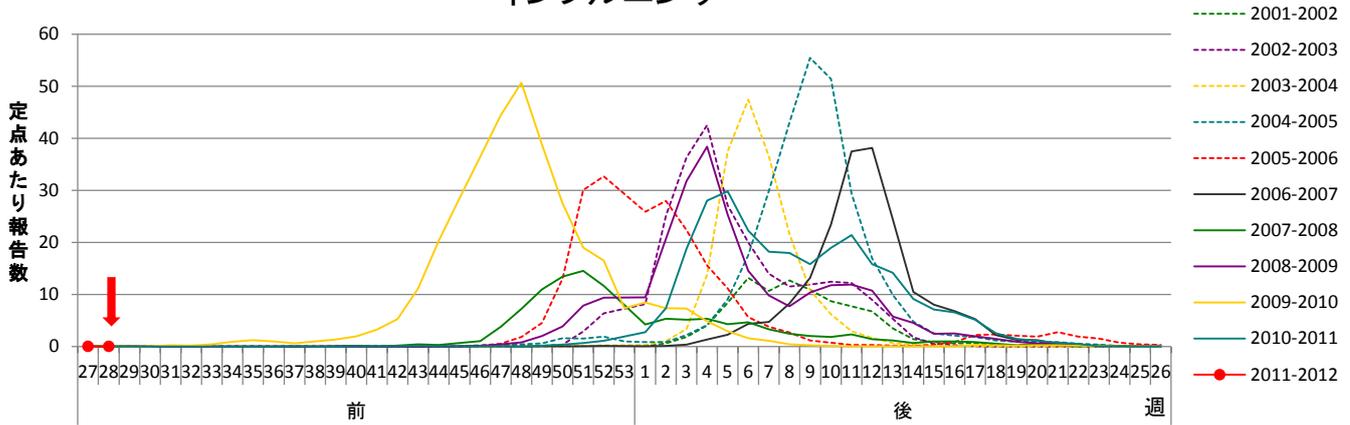
( - : 0 )

# 全数把握 感染症患者発生状況

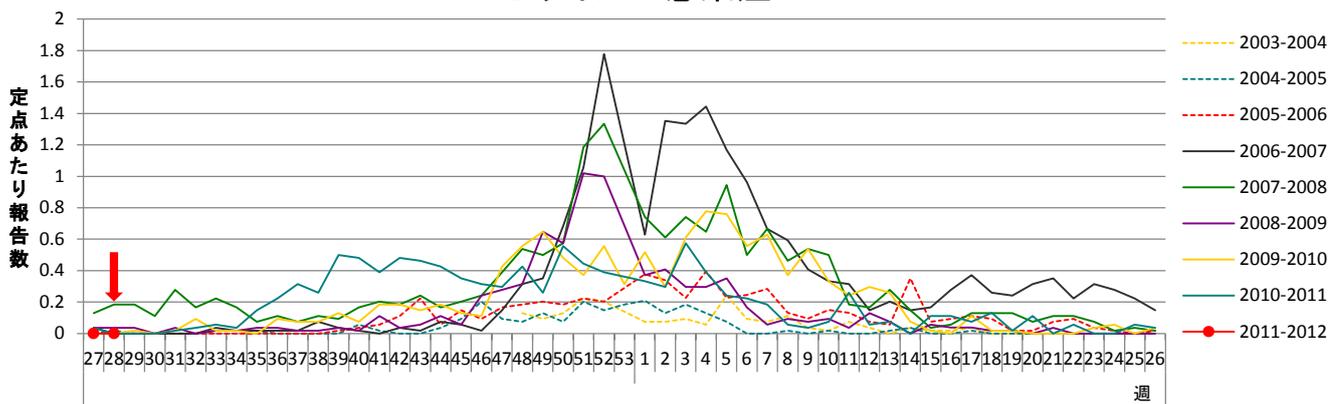
2011年 28週

分類	疾病名	2011		2010	疾病名	2011		2010	疾病名	2011		2010
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-						-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	257	352	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	28	66
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	1	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	2	2
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-	西部ウマ脳炎	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-	チクングニア熱	-	-	-
	つつが虫病	-	2	1	デング熱	-	-	7	東部ウマ脳炎	-	-	-
	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-	日本脳炎	-	-	-
	日本紅斑熱	-	1	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	Bウイルス病	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-	ボツリヌス症	-	1	-
	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-	ライム病	-	-	-
	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-	類鼻疽	-	-	-
	レジオネラ症	-	8	19	レプトスピラ症	-	-	-	ロッキー山紅斑熱	-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	6	13	ウイルス性肝炎*3	-	3	7	急性脳炎*4	-	-	1
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	1	1
	後天性免疫不全症候群	-	4	22	ジアルジア症	-	1	5	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	6	9	破傷風	-	1	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	3	風しん	-	-	2
	麻しん	-	4	3						-	-	-

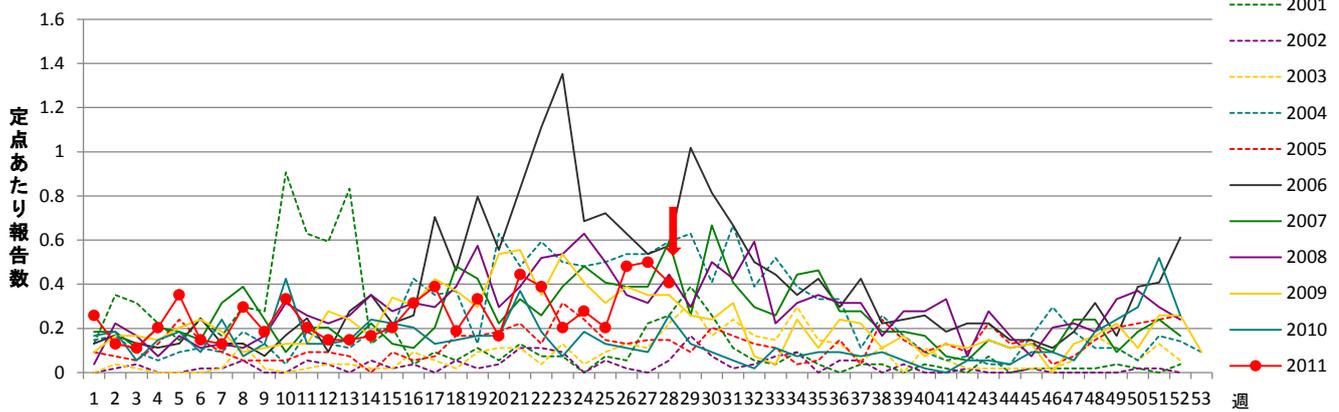
### インフルエンザ



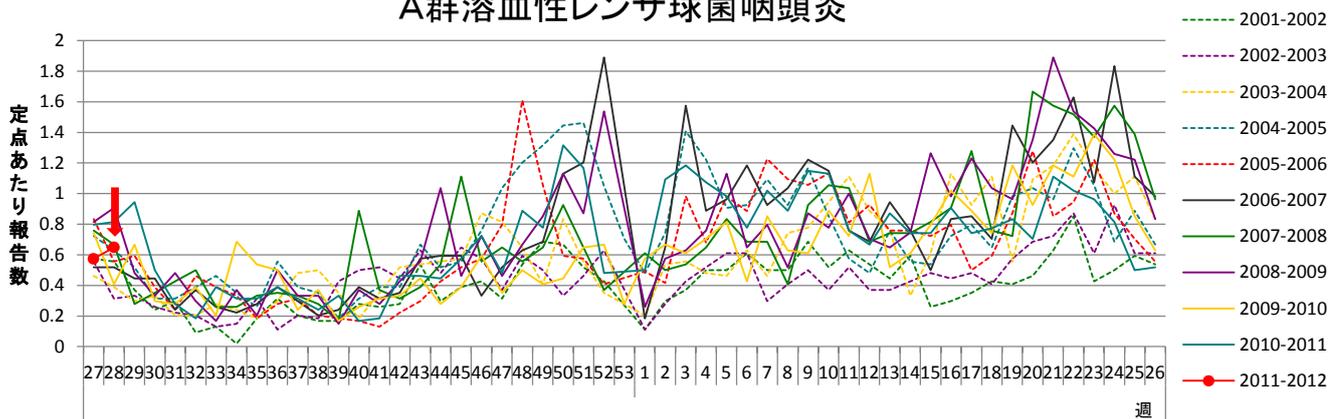
### RSウイルス感染症



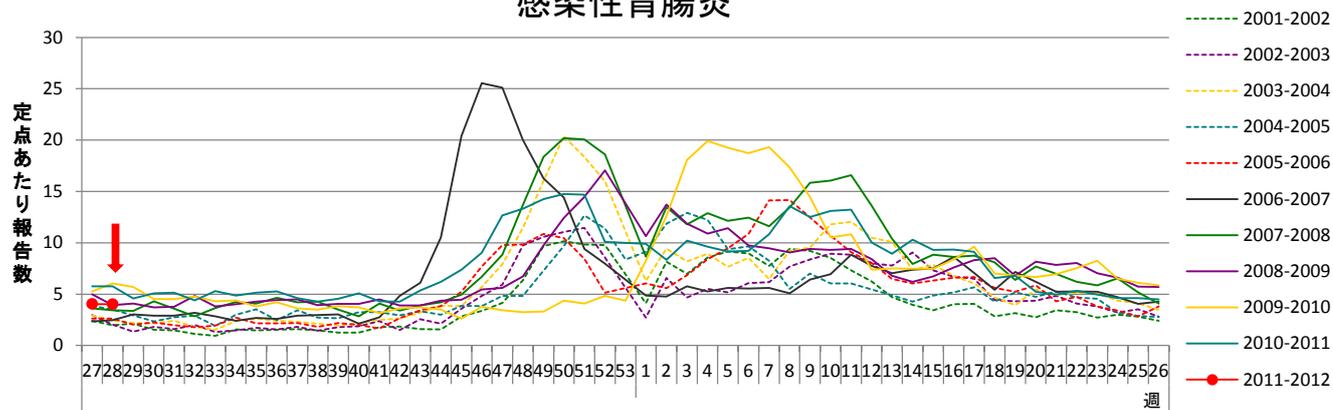
### 咽頭結膜熱



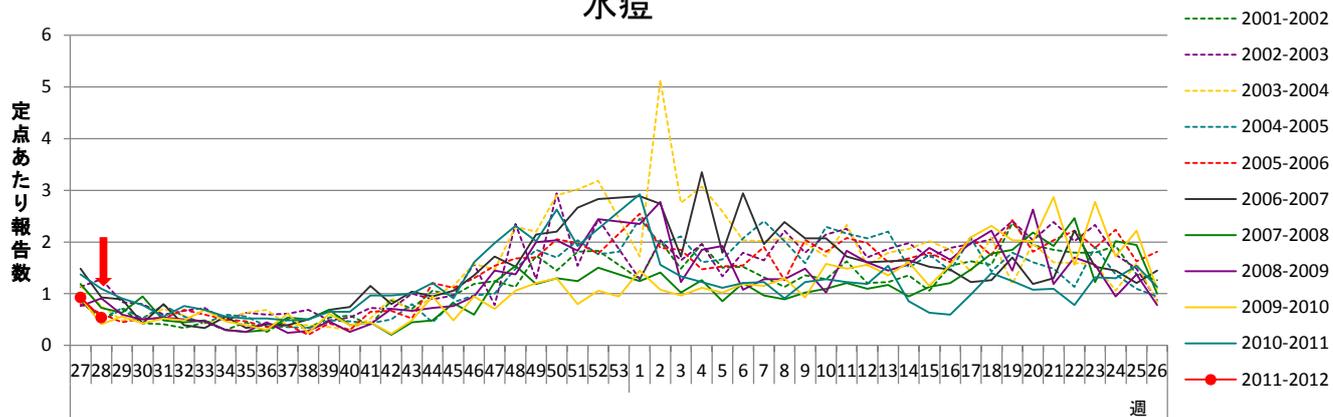
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



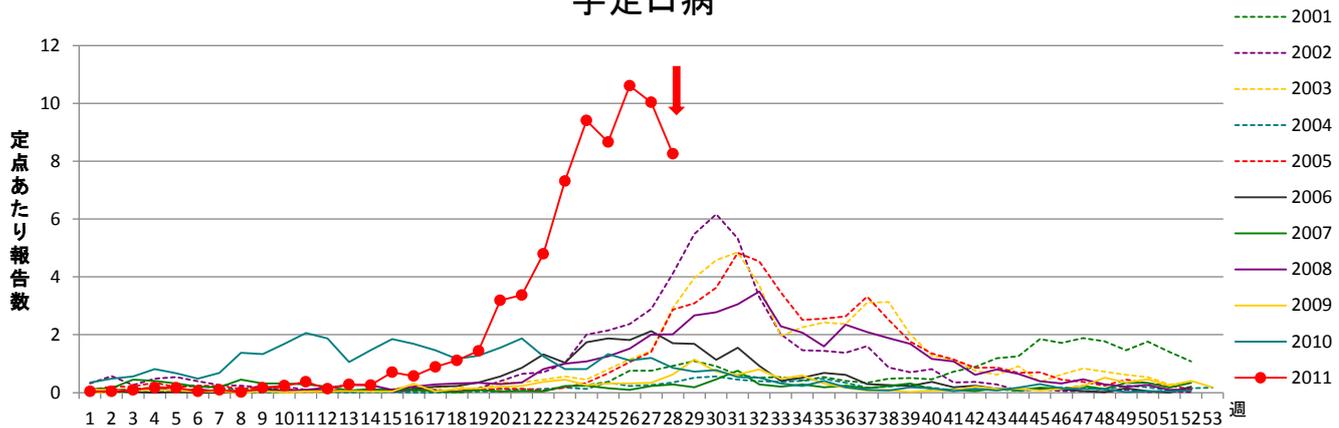
### 感染性胃腸炎



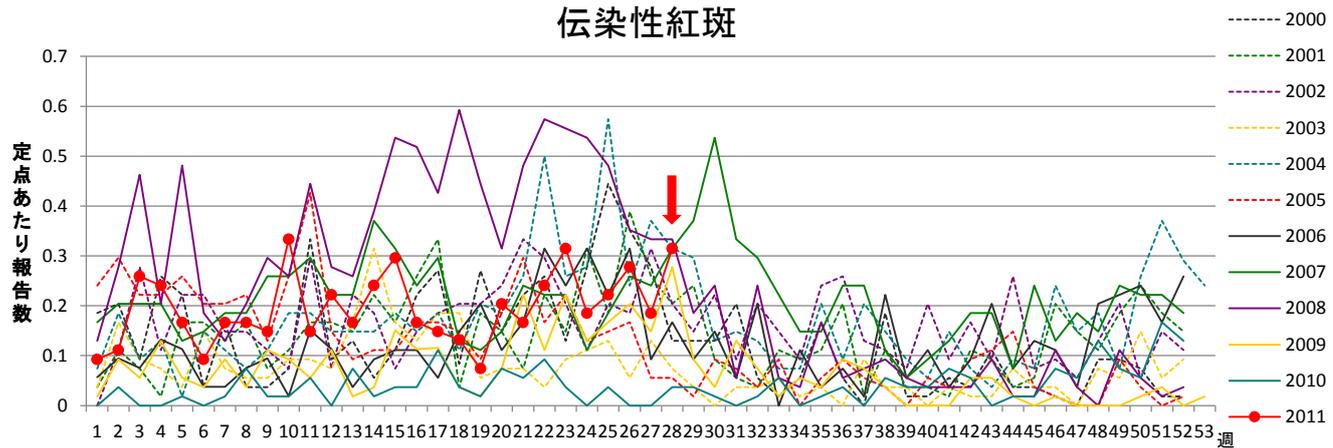
### 水痘



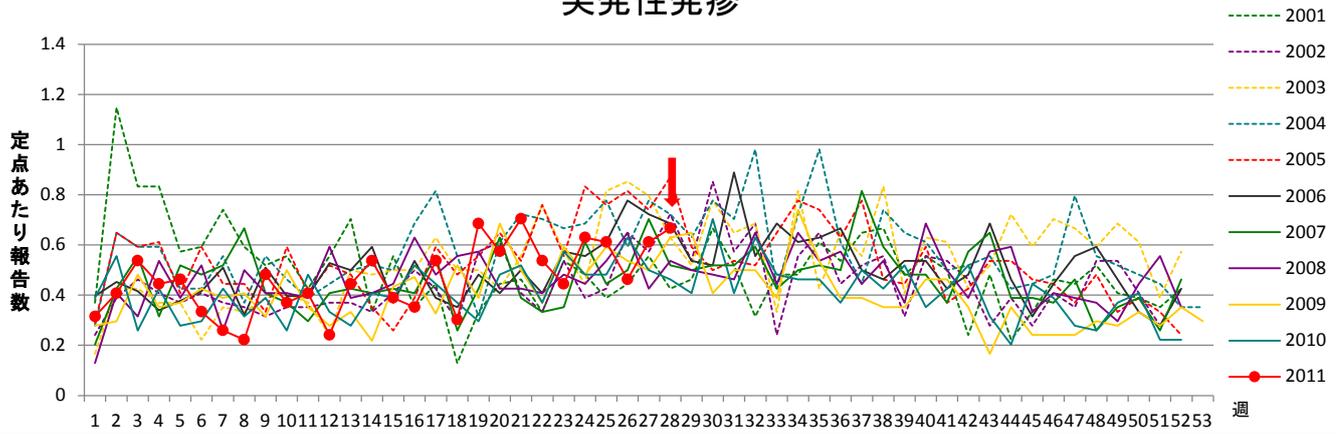
### 手足口病



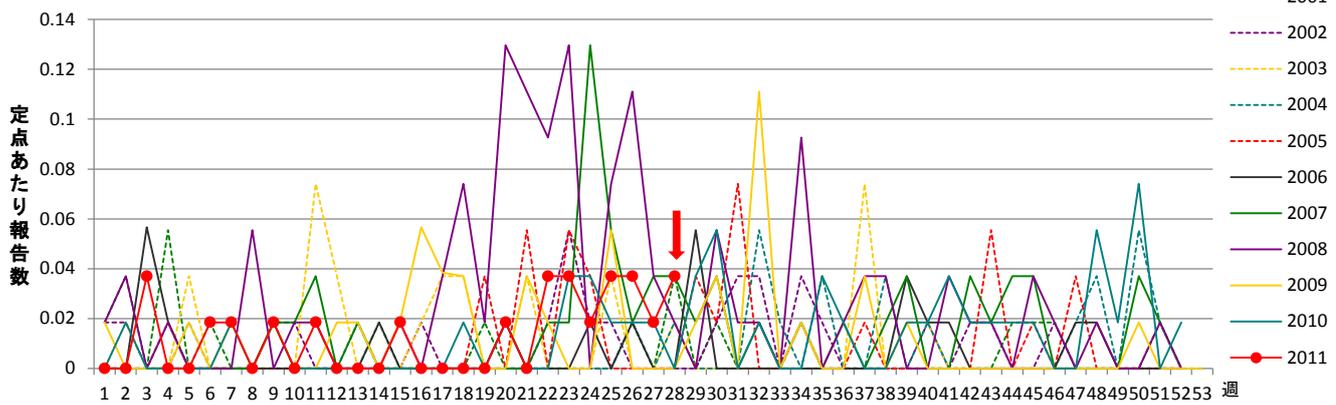
### 伝染性紅斑



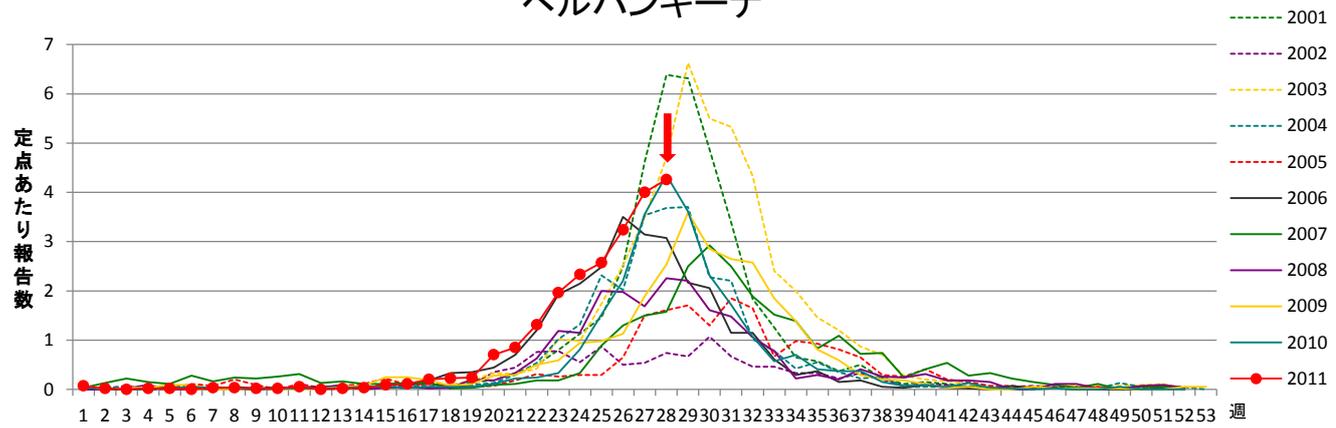
### 突発性発疹



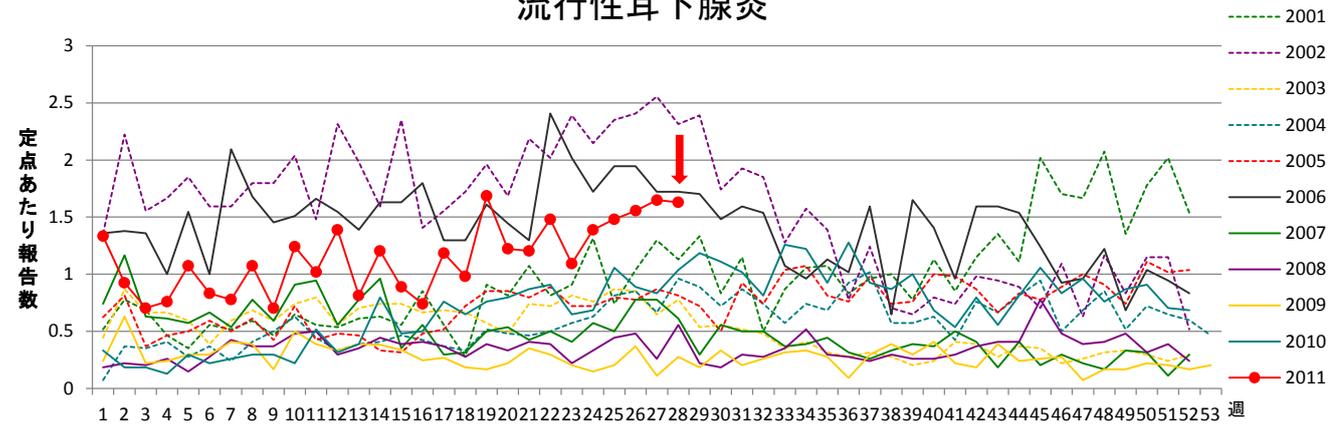
### 百日咳



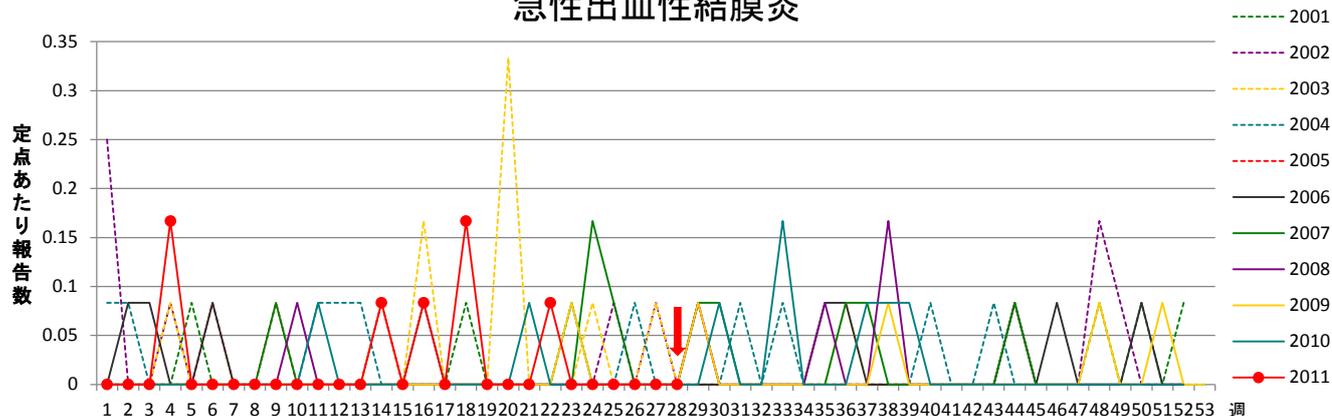
### ヘルパンギーナ



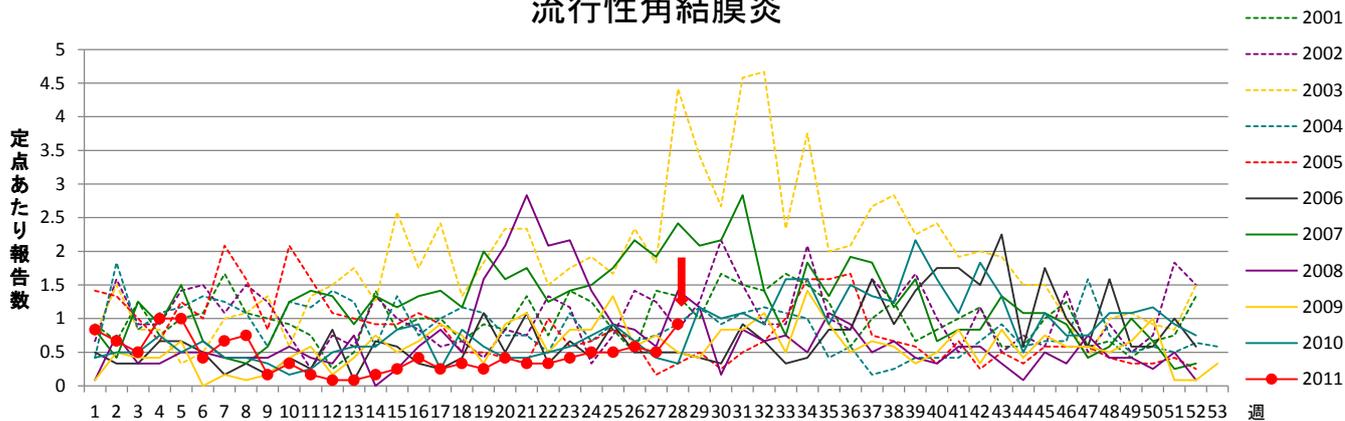
### 流行性耳下腺炎



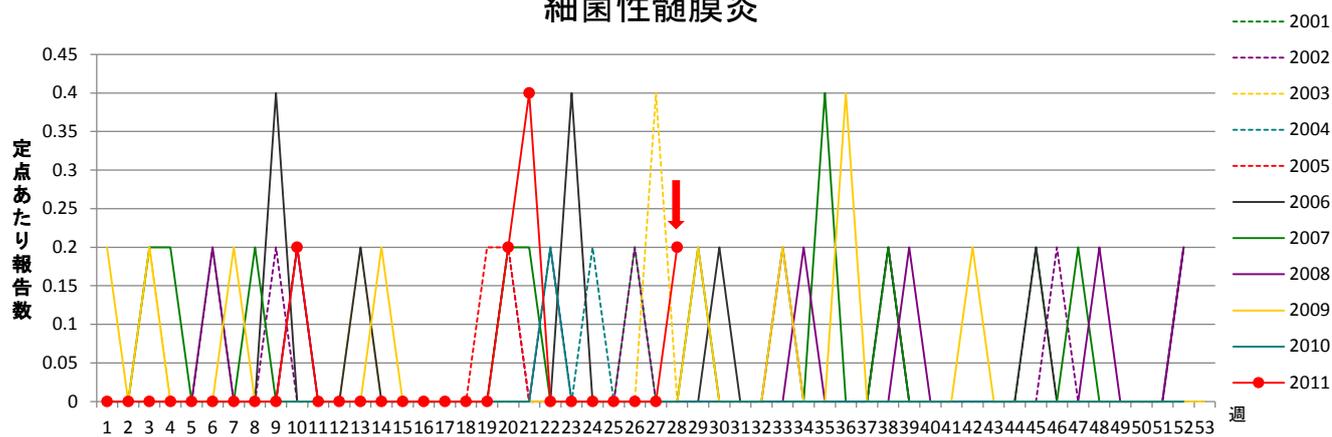
### 急性出血性結膜炎



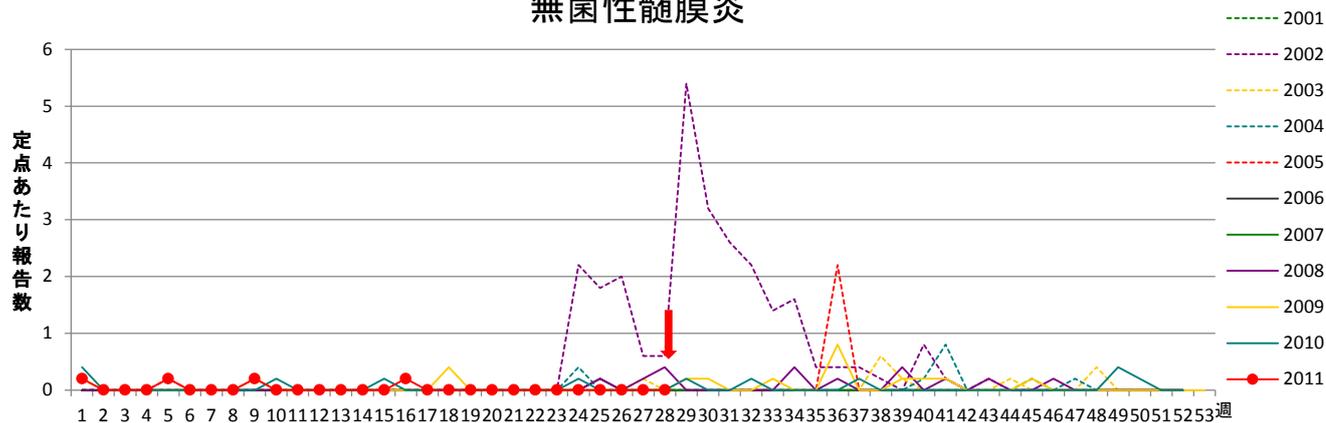
### 流行性角結膜炎



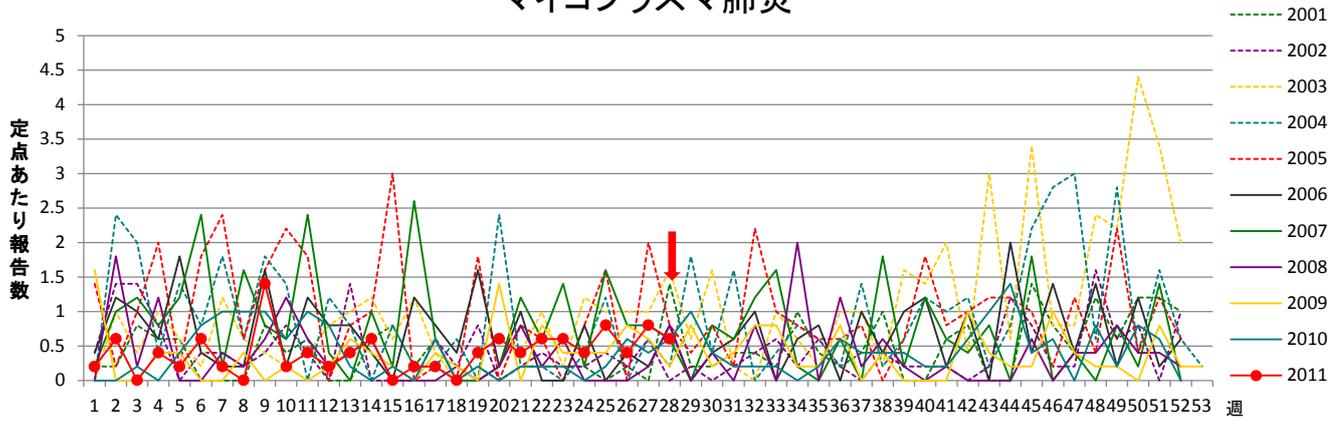
### 細菌性髄膜炎



### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎

